



PTA新聞 おきなわ

発行
(一社) 沖縄県PTA連合会

〒900-0002
那覇市曙2-26-27
TEL (098) 867-3582
FAX (098) 867-0309

責任者 下地 イツ子

令和元年度食育シンポジウム

トッパスリートに学ぶ 子どもから大人の生活習慣
～お父さんのお腹も凹む食習慣～



令和元年8月10日に食育シンポジウムが開催されました。この食育シンポジウムは食育基本法が制定された平成17年の次の年から開催され、今回で13回目の開催となりました。昨年台風接近のため中止となり、そのリベンジとして臨んだシンポジウムでした。基調講演、シンポジウムの内容とも素晴らしく、会場から多くの質疑もあり、時間が足りないほどの盛り上がりでした。

当日、土砂降りの雨に

も関わらず、駐車場の誘導係をしていただいた島尻地区PTAの皆様や関係団体の皆様の協力で無事成功裏に終えることができましたと思います。このシンポジウムが沖縄県の子どもたちの心身の成長に役立つことを願っております。

(公財) 沖縄県学校給食会
総務課長兼食品検査・食育支援室長 新崎忠光



管理栄養士の河谷彰子先生を招き食育シンポジウムが行われました。

昨年度は台風の影響で中止となり残念に思われ

た方も多かった為、空席がほとんどありませんでした。アスリートの食事指導もされている河谷先生ならではのお話で、とても興味深いものが多かった中、私が実践しようと思ったのは朝ごはんでした。子どもたちに必要で、簡単にバランスのいい朝ごはんが納豆卵かけご飯でした。それに牛乳がヨーグルトをプラスすると最高にいいバランスのとことでした。あと、一日に両手に乗るくらいの野菜をとること、野菜を取っている人は取っていない人より風邪をひきにくいとお話もありました。他にもスポーツをしている子どもが試合前に食べるという食事や競技別で試合前の食事が変わったりなど、ためになるお話をたくさん聞くことができ、とても有意義な時間となりました。

その後のシンポジウム

では歯科医、学校栄養士、地域で食育活動をしている方々のお話も聞くことができ、家庭でできることなど、学校でできることなどたくさんの方の食育のお話を聞き出すことが出来ました。今回、食育シンポジウムに参加して、私自身もっと食にこだわって、これからの子育てを楽しみたいと心躍るような気持ちになりました。

広報委員 知念一美



第67回日本PTA全国研究大会兵庫大会

「つなげよう『いのち』のバトン 次世代を生き抜く子どもたちへ」

～地域とともに育む力 兵庫から～

全体会

「令和」という新時代を迎えたこの夏、第67回日本PTA全国研究大会兵庫大会（8月23・24日）が開催されました。全国から約八千名のエネルギーシユなPTA・教育関係者が兵庫県に集いました。一日目の分科会では、兵庫県内10会場にわかれて共に学び・傾聴・共感し充実した時間を過ごすことができました。

二日目の全体会では、オープニングアクトに宝塚OGによるレビューショー。身を乗り出して観てしまうほど、とても豪華で魅力的な歌声・パフォーマンスは圧巻でした。

そして、記念講演はメソタリストのDaigo氏による「子育ては、心理学でラクになる」でした。前半は小1～中2までいじめられた生々しい話

をしてくれました。席次も下から2位だったそうです。ある時、いじめっ子に母親のことをバカにされて初めて反撃をしたことをきっかけにいじめはなくなり、そこで気づいたそうです。

メインテーマ

- ☆ここから豊かでたくましい子どもを育てるPTA活動
- ☆子どもたちとともに、
「いのち」を尊び大切にするPTA活動
- ☆防災の実践力を高め、
安心安全な地域社会を築くPTA活動
- ☆学びあい、魅力ある学校・地域にするPTA活動

後半は、会場からの質問に、なんと一問一答形式で統計心理学や論文発表されたものを基に答えていく形で進められていました。質問されたら躊躇することなく瞬時に答えていく姿を見て、この方の頭には一体どれくらい知識があるのだろう…まるで歩く図書館のようだと感じました。

後半は、会場からの質問に、なんと一問一答形式で統計心理学や論文発表されたものを基に答えていく形で進められていました。質問されたら躊躇することなく瞬時に答えていく姿を見て、この方の頭には一体どれくらい知識があるのだろう…まるで歩く図書館のようだと感じました。

と述べていました。終始、目からウロコ！な内容ばかりで親から子、PTAから地域の子ども達を見守る姿勢を改めて考える時間となりました。

特別第2分科会

広報委員 前原みのり

また、子どもの性格について、50%は持って産まれたものなので変えられません。親の影響は6%、残り44%は友人・知人です。なので親より付き合う人の影響が大きい

テーマは「家庭・地域とともにある学校づくりを目指してコミュニティ・スクールという仕組みづくり。」コミュニティ・



スクールとは、学校・PTAに地域を巻き込んだ形のこと。メリットは、「信頼出来る大人と関わることで、幅広い知識や生きる力を身につける」ことである。

地域を巻き込むにあたり、課題(素行悪・深夜徘徊等)のある校区だと課題解決を目標に団結しやすい。穏やかな校区は、保護者による料理教室、生徒・児童が曜日毎に地域の清掃する等で、学校・PTA側から地域に寄り添い繋がりを作った例が挙げられた。沖縄であれば、三線・空手教室なども出来るだろう。

私たちの長嶺小学校では、長嶺出身で活躍している方の講演会、地域で活躍している方からのクラス毎での講義、親の学びあいプログラムに地域の方にも参加してもらうことも検討しつつ、地域との繋がりを広げたい。

長嶺小学校PTA会長

黒島美穂子

第2分科会

加古川市民会館で開催された第2分科会へ参加してきました。第2分科会では「学校教育」ということで、地域とともに育み次世代へ「つなぐ」学校教育について実践発表、講演、パネルディスカッション等の話し合いがありました。またその内容について簡単にまとめると、次世代につながる教育がこれから必要です。日本の子どもたちは「できる学力」(答えや解き方がひとつに定まる問題を解く力)は高い一方で、「わかる学力」(様々な知識を結びつけて、自分の考えを説明したり、物事の本質を深く理解したりする力)は相対的に低いことがわかってる。「わかる学力」や、学びに向かう力を育むには、「協同的探究学習」(「わかる学力」を取り入れた応用的な学習)を伸ばすこと

第6分科会

が重要です、AI(人工知能システム)には難しい能力を育てることにより、近い将来AIが普及してもAIには難しい能力を学習することでAIにはない能力を補助できるのではないかと考えている、そのため授業に「協同的探究学習」を取り入れることが必要である、今後小中学校でも、「協同的探究学習」を授業に取り入れていくといった内容でした。

今回の研修に参加でき、色々なことを学び、とても勉強になりました。また、今回の開催地であった兵庫県の大関係者に感謝するとともに、この研修で学んだことをPTA活動の参考とし、沖縄県の子どもたちの将来のために、新たにPTAの更なる活性化に向けてできる限り精進する所存であります。

北谷町PTA連合会

会長 荒川 憲昭

8月23日(金)に、第67回日本PTA全国研究大会第6分科会(防災教育)に参加しました。阪神・淡路大震災から来年で25年目を迎えるにあたり、今回の兵庫大会でも改めて防災教育への意識の高さを実感させられました。防災と聞くと、地震に対する防災をまず思い浮かべる方も多いと思いますが、昨今の地球規模で起こる天災・人災をみますと、地震のみでなく、あらゆる災害に対応出来る心構え、知識、準備を日頃より家庭の中・地域でも備える事が大切であると知りました。

では、ご家庭ですぐにでも出来る事は有るのか?実は、日頃からの家族間のコミュニケーションが大切であるとの事です。災害時の集会所を決めておく事はすぐにでも出来る防災です。

この機会にPTA・地域・家庭と防災の知識を共有できればと思います。

北谷中学校PTA

仲村 郁代

住んでいる地域に何から還元したいと思い、日頃から興味のあった防災教育の分科会に参加しました。基調講演では「いのちを守る防災教育」をテーマに家庭・学校・地域 いま私たちに出来ること、防災科学技術研究所の立場からの予測力、予防力、対応力(災害レジリエンス)の向上にむけ、時代にあった計画の必要性を学びました。姫路市内にある2校の実践発表は阪神・淡路大震災を経験してからの「ボランティア活動」等の発表。

パネルディスカッションでは、東日本大震災を教職員として対応した元教職員や、防災士、阪神・淡路大震災を経験し避難所のボランティア活動に関わった姫

路市内の校長先生の意見交換から、「我がごと意識」防災を、忘災になることへの危機感、日頃の家庭からのしつけ、あいさつが防災力向上につながると、実例を通して多くの学びがありました。まずは身近の学校、地域に伝えなければと、使命感を持って行動に移していきたいと考えてます。

国頭地区PTA連合会会長

島袋 誠



全国コンクールに2校入賞

全国小・中学校 P T A 広報紙コンクールの優秀作品が決定しました。今年の応募数は4865校（小学校3261校・中学校1604校）各地方協議会での第一次審査を通過した593校から、第二次審査・第三次審査を経て最終審査で P T A 広報紙の持つ目的・使命・記事・編集・レイアウト・見出しなどの評価が総合的に優れていた小学校22校・中学校20校の計42校の広報紙作品が受賞の栄誉に輝きました。沖縄県から小学校1校・中学校1校が写真賞と佳作に入賞しました。



写真賞

小学校の部

那覇市立 真嘉比小学校 「まかんちゅ」

佳作

中学校の部

那覇市立 金城中学校 「東雲」

木もれ陽

「目玉焼きに何かける?」

赴任してすぐの全体朝会。

「目玉焼きに何かける?」と聞いてみた。

質問された子どもたちは一瞬キョトンとした表情に。でもすぐに思い思いの答えを発した。

ある社が調査したデータによると、1位：醤油(58.2%)、2位：塩・こしょう(28.2%)、3位：

塩(20.5%)、少数派：ソース・ケチャップ・マヨネーズ・何もかけない・めんつゆ・ポン酢等。

このデータを紹介すると僕は1位、私は3位など多数派に入っている子どもたちの声が体育館に響いた。「ちなみに校長先生はポン酢で食べます」と言うと、子どもたちはまたキョトンとした表情に。

「ポン酢はダメですか?」と聞いてみると「大丈夫です」と大きな声が返ってきた。

子どもたちがこれから直面する社会は予測がつかないと言われる。「答えがない世界」「正解がたくさんある世界」「自分で答えを作り出す世界」とも言われる。多様性が求められる社会へ向かっている現在、子どもたちをどのように育てていくのか。「同じことができる」ことも大切だが、「異なること(人と違うこと)」はもっと大切だと思う。これからの子どもたちが自信をもって社会に羽ばたいていけるよう、子どもたちの多様性を大切にしたい教育ができればと日々奮闘中。

那覇市立真嘉比小学校校長

重信 知雅子



豊年祭真嘉比綱引き



第70回沖縄県小中学校童話・お話・意見発表大会

宮古大会のご案内

日時

令和元年12月13日（金）午前9：20開始

会場

小学校低学年

男子 宮古島市立平良第一小学校

女子 宮古島市立久松小学校

小学校高学年

男子 宮古島市立西辺小学校

女子 宮古島市立東小学校

中学校

男子 宮古島市立久松中学校

女子 宮古島市立伊良部島小中学校（結の橋学園）



みやこ島

第61回 沖縄県PTA研究大会

八重山大会のご案内

スローガン

わちゅうきょうどう

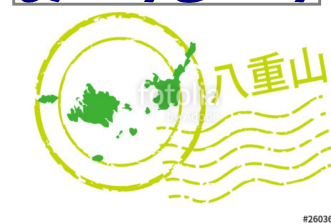
「和衷協同！ 結いの心で紡ぐ愛」

期日・会場

☆ 令和2年1月18日（土）～19日（日）

- | | |
|--------|-------------------|
| 第1分科会 | 組織・運営……石垣第二中学校 |
| 第2分科会 | 健全育成と地域連携……八島小学校 |
| 第3分科会 | 家庭教育……石垣中学校 |
| 第4分科会 | 教育問題……平真小学校 |
| 第5分科会 | 広報活動……真喜良小学校 |
| 特別分科会1 | 人権（特別講演）……大浜小学校 |
| 特別分科会2 | 食育（シンポジウム）……石垣小学校 |
| 全体会 | ……石垣市民会館大ホール |

みーりどーり



#260367093

多数のご参加をいただきますよう、ご案内申し上げます。

和衷協同とは……協力しあい物事を行う



◆第61回沖縄県PTA研究大会八重山大会について
報告事項
◆九P福岡県大会の提言者、助言者について
◆令和2年度3年度の童話・お話・意見発表大会の開催地区の確認について

【第5回理事会報告】
日時：令和元年9月27日
（金）午後4時
場所：沖縄県PTA連合会
3階ホール
定足数の確認26人中出席
（18人）・委任（5人）
協議事項
◆第70回童話・お話・意見発表大会宮古大会について

文部科学大臣表彰に県内から2団体

伊江村立伊江中学校文部科学大臣表彰と日本P T A会長表彰のW受賞



表彰式会場の様子



母親委員会講演会

9月27日（金）に沖縄県P T A連合会3階ホールにて、母親委員会主催「L G B Tについて」県P・各地区の理事及び役員の皆様を対象に講演会を開催致しました。講師として、性同一障害当事者の方をお招きし、涙なくしては聞かずにいられない体験談や、今悩んでいる子供達への手助けとなる私達へのメッセージなど、身近に感じられ考えさせられる講演会となりました。又、令和2年1月18日（土）沖縄県P T A研究大会八重山大会特別分科会人権ではL G B Tに関する内容を特別講演で行う事となっております。是非とも、多くの皆さんにご参集頂き、より多くの方々に聞いて頂きたいと思ひます。

母親委員会委員長 安座間 智美



日本P T A年次表彰式が令和元年11月15日にホテルニューオータニで開催されました。県内から、文部科学大臣表彰に2団体、日本P T A全国協議会長表彰に1団体・個人四名、さらに広報紙コンクール表彰に2団体がそれぞれ受賞いたしました。表彰団体及び個人は次の通りです。

【文部科学大臣表彰】

伊江村立伊江中学校P T A

那覇市立泊小学校P T A

【日本P T A

全国協議会長表彰】

(団体の部)

伊江村立伊江中学校P T A

(個人の部)

新嶋 正規（金武町

P T A連合会元会長）

増子 堅吉（中頭地区

P T A連合会元会長）

石川 謙（沖縄県P T A

連合会前会長）

友利 正治（宮古地区

P T A連合会前会長）

【広報紙コンクール

表彰】

那覇市立真嘉比小学校

P T A

(佳作)

那覇市立金城中学校

P T A

編集後記

今年度、広報委員として参加させていただくことになりました。よろしくお願いいたします。私がP T A活動に携わったきっかけは、娘の小学校入学で広報委員からのスタートでした。来春の中学卒業をもって広報委員も卒業となります。9年間培ってきた「広報魂」で沖縄県P T A連合会のいろいろな活動、情報などを多くの方に伝えていきたいと思っています。【中頭地区広報委員 大城 多栄子】

昨年度、私が所属する単Pが広報掲載をきっかけにお声がけいただき、今年度より広報委員として活動しています。

どんな活動も広報やP Rを通して、より多くの方々に認知されるものだと思います。P T Aも広報委員の活動は重要なものだと感じています。

この出会いに感謝し、微力ではございますが頑張りたいと思います。1年間よろしくお願いいたします。

【中頭地区広報委員 前原 みのり】